

令和2年度第2回沖縄県振興推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和2年11月10日(火) 9:45~11:00
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第1、第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事、富川副知事、謝花副知事、島袋政策調整監、知事公室長、総務部長、企画部長、環境部長、子ども生活福祉部長、保健医療部長、農林水産部長、商工労働部長、文化観光スポーツ部長、土木建築部長、教育長、病院事業局長、企業局長、県警本部警務部参事官(県警本部長代理)
- 4 議題 (1) 新たな沖縄振興のための制度提言(中間報告)(案)について
- 5 議事概要
 - (1) 事務局が資料2「新たな沖縄振興のための制度提言(中間報告)(案)【概要版】」に基づき説明を行った。
 - (2) 各委員(各部局長等)が資料1「新たな沖縄振興のための制度提言(中間報告)(案)」に基づき各部局の主な制度の説明を行った。
 - (3) 出席者から次の発言があった。
 - ア 今回とりまとめた制度は中間報告であり、国へ提言を行うまでの間、制度提案の全てを沖縄振興特別措置法に盛り込むのか、或いは規制緩和として求めるのかなど、引き続き内容の精査が必要である。
 - イ 島しょ型スマートモビリティ推進制度(100ページ)について、モビリティを展開していくということは非常に大事であるが、鉄軌道との関係なども整理する必要がある。
 - ウ 沖縄デジタルトランスフォーメーション(DX)支援制度(170ページ)について、DXの土台となる5Gや通信などの基盤整備も求める必要がある。
 - エ 今後、10年先を見据えて、国との調整を進めるにあたって、どのような効果があるか等、これを定量的に整理していくこととしている。
 - オ 要望する制度について、沖縄だけに適用する理由や、全国一律の措置では支障がある理由を整理する必要がある。
 - カ 各制度に関連する「SDGsゴール」や「沖縄らしいSDGsの優先課題」が記載されている。SDGsの推進のためには、各部局がその理念をしっかりと認識した上で取り組む必要がある。
 - キ 沖縄戦に起因する様々な問題の解決のための制度については、復帰50年を経ても、これだけの課題が、まだ山積しているということを明確に示し、分類した整理を行うこととする。

- ク 「新たな沖縄振興のための制度提言（中間報告）（案）」については、本日、意見のあった点について、国へ提言を行うまでに必要な検討を行い、内容の充実等を図っていくことを確認した上で、全会一致で了承された。
- ケ 今後は、この中間報告について、国、経済団体、市町村等にも提示し、幅広く意見を募るなど内容の充実を図り、中間報告に掲載されていない制度についても、関係する団体とも意見を交わすなど必要な検討を更に進めることとされた。
- コ また、「新しい生活様式」に対応した各種制度や、国も推進するSDGsなどを反映させ、未来を先取りし、日本経済の一端を担うべく、新時代沖縄を展望しうる制度となるように意識するとともに、いまだ解決されていない戦後処理問題を整理した上で提言に盛り込むこととの発言があった。

以 上